

ジュゼッペ・トルナトーレ監督の名画『ニューシネマ・パラダイス』ではないけれど、イタリア人はクルクルの眼をした悪戯好きな連中だ。そんな国で一九五八年に生まれたのが、“カールーフテント”。彼らの茶目っ気が感じられる〈いかにも〉の製品だ。なにしろ、車の屋根の上にテントを載せてしまおうというのだから“普通”ではない。

子どもってのは狭いところに入り込むのが好きだから、テントなら大喜びだ。まして、車の屋根で眠れるなんてことになったら狂喜すること間違いなし。しかも両親と子ども二人が横になれる広さがあるのだから、オートキャンプにはもってこいの道具である。

設営のために石ころを拾って整地する必要すらない。ただ車を止め、ワンタッチで展開すればいいだけだ。

テントの中はしっかりしたFRPのシェル（外郭）の上に、厚い発泡材マットレスが敷かれていて、高さ調整可能なラダーを取り付ければすぐにも眠れるではないか！

バリ・ダカでスイスチームが装備したというのも、大いに納得させられる。

ハテサテ、オートキャンプ場から脱出して、どこに行こうか。

## 車の屋根の上で眠る



2003年2月号記事掲載

ジファー ジャパン

『コロンブス』130×210×150cm,40kg

お問い合わせ／☎03-3231-8594 <http://www.ziferjapan.com>